

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	コンプリート・ベドラム	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.530	△RG	0.055	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：コンプリート・ベドラム**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  4 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

**比較対照ボール：ベドラム**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  4 インチ

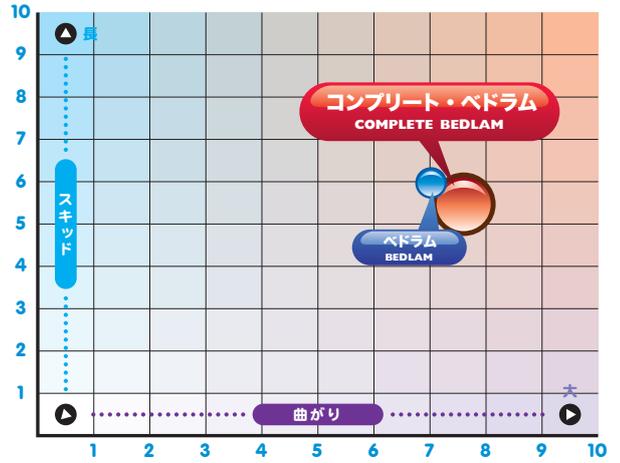
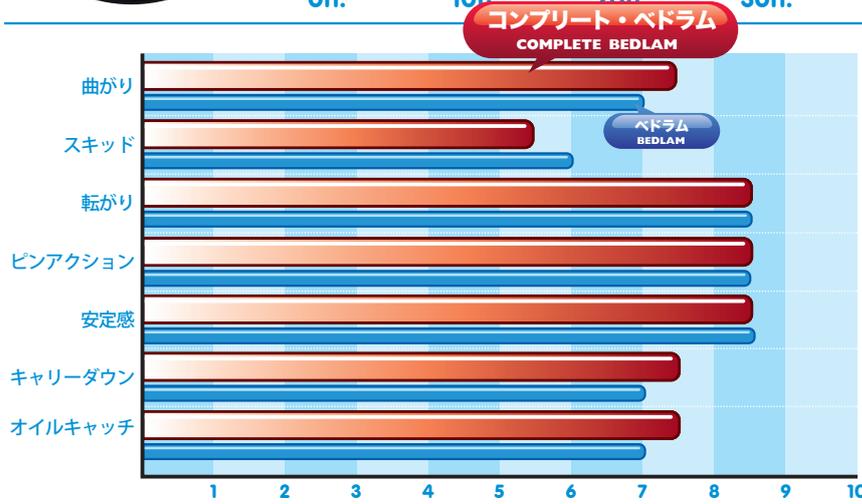
表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

シニアトーナメントから始まり、ABSプロスタッフの上位者殆どが前作GIGA BEDLAMを使用し活躍するという快進撃でメーカーの在庫も一気に完売。追加生産のボールも残り僅かになりました。

今回のComplete BEDLAMはFull Tiltカバーストックを5.0に設定をし、カバーストックの強さから順に並べると、BEDLAM 4.0>Complete BEDLAM 5.0>Total BEDLAM 6.0という図式が読み取れます。今回Full Tilt5.0を使うことでポリッシュ加工でもオイルに対しての安定感が格段に向上されています。またバックエンドリアクションの強化を図り、よりフリップ感を出すために”BEDLAM V2.0”コアシステムを新たに採用しています。

BEDLAMとの比較投球で感じたことは、オイルに対しての安定感が向上されたこと。Full Tilt 4.0でみられたキャリーダウンでの挙動は少なくなり、オイル量における対応幅も広く感じる事ができました。今まではBEDLAMシリーズで対応しようとするTotal BEDLAMからBEDLAMまでのパフォーマンスの差が有り過ぎました。Total BEDLAMからのボールチェンジ時に「手前の走りとしっかりとしたキャッチ」を新しいBEDLAMに求めていたのは私だけではないと思います。

今回新しく採用されたBEDLAM V2.0コアはカバーストックの差だけで性能を変えるのではなく、奥の動きそのものをコアで強化する事によってTotal BEDLAMとBEDLAMとの間にComplete BEDLAMの性能を合わせてきているという意図も伺えます。BEDLAMのクリーンなスキッドを損なうことなくオイルに対しての強さとバックエンドリアクションを強化した性能を是非その手でお試ください。

### 特記事項

表面加工を#800・#800・#1000・#1000からポリッシュと工程の段階を繰り返すことで、より安定した表面に仕上げられています。